

ぼうさいコラム

こんにちは。厚真町防災アドバイザーの定池です。広報あつまへの執筆は約4年半ぶりです。久しぶりのコラムは、最近訪問した2校での防災学習について紹介します。

今年の防災授業は、上厚真小学校が9月6日と30日、厚南中学校では9月3日と10月6日に実施しました。このうち、昨年から「上小防災の日」（9月6日前後）を設けて学年別の防災授業を開いている上厚真小学校では、3、4年生の授業や全校避難訓練に参加してアドバイスし、6年生の授業と一緒に避難所としての校舎の使い方を考えました。

一方、厚南中学校では、全校生徒を対象に、東日本大震災の復興状況を伝え、災害時に自分たちができることについて、グループで考え発表した内容について助言しました。

いずれも、先生が細やかな配慮の中で授業の用意をされていること、児童・生徒たちの聞く態度、話し方やその内容の立派な姿が強く印象に残りました。学校・学年を問わず共通していたのは、「自分たちから動く」、「他者に寄り添う」という基本的な姿勢です。子どもたちの良さを活かした防災学習が今後も展開されるよう、微力ながらお手伝いさせていただきたいと感じた学校訪問でした。



防災授業に耳を傾ける上厚真小の児童たち

東北大学災害科学国際研究所・助教。博士(文学)。現在、厚真町防災アドバイザー。厚真町の復興・成果再建支援にも取り組んでいる。



定池 祐季

町では、災害情報や町からのお知らせが放送される「防災行政無線」を無償貸与しています。

「もしものとき」は明日かもしれない | 問い合わせ 総務課 防災グループ ☎ 27-2481



防災のページ 地震に備える(その1)

1973年に刊行された日本沈没というSF小説が、テレビドラマ化されたリメイク版として放送を始めました。プレート内の破壊により大きな海溝型地震が発生し、陸が沈下して日本が海に沈んでいくという設定が話題となっています。

実際にプレート内で破壊が起こり、大きな地震が発生した場合は、地震による家屋等の倒壊や土砂災害の発生等の他、震源の深さにもよりますが、大きな津波となって押し寄せ、甚大な被害が予想されます。

また、平成30年北海道胆振東部地震のような内陸型(直下型)の地震でも、津波を除いて大きな被害が予想されます。

現在の科学・技術、地震学では、このような大きな地震がいつどこで発生するか、規模などを予測することは困難とされています。

このため、日ごろから地震への災害に備えておくことが重要です。

地震の発生確率

政府の特別機関として設立された地震調査研究推進本部では、「同じ場所で同じような地震がほぼ定期的に繰り返す」という仮定のもとに、大きな被害をもたらす可能性が高い、活断層で起きる地震、プレート境界やその付近で起きる地震(海溝型地震)について公表しています。「活断層及び海溝型地震の長期評価結果(2021年1月1日)」で、厚真町に大きく影響する地震の長期評価の概要は下記のとおりです。

| 地震(抜粋) | | マグニチュード | 地震発生確率(30年以内) |
|--------|------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 海溝型 | 千島海溝沿い | 十勝沖 | 8.0~8.6程度 10%程度 |
| | | 根室沖 | 7.8~8.5程度 80%程度 |
| | | 色丹島沖及び択捉島沖 | 7.7~8.5程度 60%程度 |
| | | 超巨大地震(17世紀型) | 8.8程度以上 7%~40% |
| | | ひとまわり小さいプレート間地震 | 十勝沖及び根室沖 7.0~7.5程度 80%程度 |
| | | | 色丹島沖及び択捉島沖 7.5程度 90%程度 |
| | | 十勝沖から択捉島沖の海溝寄りのプレート間地震(津波地震等) | Mt8.0程度 50%程度 |
| | | 沈み込んだプレート内のやや浅い地震 | 8.4前後 30%程度 |
| | | 沈み込んだプレート内のやや深い地震 | 7.8程度 50%程度 |
| | | 海溝軸の外側で発生する地震 | 8.2前後 不明 |
| 日本海溝沿い | 超巨大地震(東北地方太平洋沖型) | | 9.0程度 ほぼ0% |
| | | 青森県東方沖及び岩手県沖北部 | 7.9程度 8%~30% |
| | | ひとまわり小さいプレート間地震 | 7.0~7.5程度 90%程度以上 |
| | | 青森県東方沖から房総沖にかけての海溝寄り | Mt8.6~9.0 30%程度 |
| | | 沈み込んだプレート内の地震 | 7.0~7.5程度 60%~70% |
| 活断層 | 石狩低地東縁断層帯 | 主部 | 8.2前後 7% |
| | | 南部 | 7.9程度 ほぼ0% |
| | | 7.7程度以上 | 0.2%以下 |

※Mtとは、津波の高さから求める地震の規模。
 ※地震発生確率値は、歴史記録や調査研究等から分かった過去の地震活動記録を統計的に処理し、「今後ある一定期間内に地震が発生する可能性」を確率で表現されたものです。
 ※過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率値は不確定さを含んでいます。
 ※活断層で起きる地震は、発生間隔が数千年程度と長いため、30年程度の間の地震発生確率値は大きな値とはなりません。例えば、平成7年(1995年)兵庫県南部地震の発生直前の確率値を求めてみると0.02%~8%、平成28年(2016年)熊本地震の場合はほぼ0%~0.9%でした。地震発生確率値が小さいように見えても、決して地震が発生しないことを意味してはいません。

厚真町地域おこし協力隊

起業型地域おこし協力隊

三木奈津美さん(36歳)

着任 令和3年8月(1年目)
 出身地 旭川市

厚真ではどんな仕事をしていますか?

「株式会社たけなご」で、ブランドデザインやデザインの仕事をしています。具体的には、一緒に商品開発したり、リーフレットやパッケージなどのデザイン制作をします。料理レシピを動画にしてYouTubeやインスタグラムなどSNSでの配信も開始しました。販路開拓を行い、お客様にしっかり届けるまでが役割です。

これまでどの様な仕事をしてきましたか?

アートとデザインの5年制高等専門学校で学び、その分野の仕事をしたかったのですが、良いデザインをすることは、社会と経済、心と身体機能の両方を学ぶ必要があると学びました。20代はフリーの立場でいろいろな仕事を経験し、29歳から本格的にデザイナーとしての活動を始めました。宿泊業を営む友人が運営する物件に3年かけて壁画を描く仕事もしました。

なぜ今の仕事を選んだのですか?

企業から業務委託で消臭シリーズのブランドデザインをしたときに、デザイン

は好評だったのですが、販路開拓がうまくいきませんでした。見えるところだけではなく、売るところまでデザインしたいと思っていましたので、まさにその部分を伴走できると感じました。森に興味があり、原木しいたけを通じて森とも関わりたいと思いました。

厚真町での生活はどうですか?

楽しく暮らしています。農作業を手伝ったり、おいしいものをたくさん食べられるのが嬉しいです。職場のアウトホームな雰囲気や、自然が豊かなところも気に入っています。もともと知り合いが厚真町で生活をしていて、ということも心強いです。

協力隊の3年間でどのような成果を目指していますか?

厚真町の原木しいたけをジנגス力ンやハスカップと並ぶ特産品に成長させること、乾燥しいたけを梅干しと同じくらい日常使いできる食材として広く知ってもらうこと。あと、社長の堀田祐美さんとレシピ本を出版したいです。厚真町のその他の農作物や林産物のブランドデザインにも関わりたいです。

